

令和8年度
合否判定の方法及び基準
【短期大学部商経科】

対象入試制度

短期大学部令和 8 年度近畿大学附属高等学校特別推薦入学試験
短期大学部令和 8 年度附属高専特別推薦入学試験
短期大学部令和 8 年度指定校推薦入学試験

1. 試験内容

書類審査

調査書、推薦書などの書類により出願資格を充足しているかを確認したうえで、志望理由書により本学部への入学意欲や将来のキャリアの見通しや目標について、しっかり自分の意見が述べられているかを確認した。

口頭試問

小論文・学科試験に加えて、約 15 分間の口頭試問を行った。口頭試問では、2 名の面接担当教員が 1 名の受験生に対して、事前に提出された志望理由書などにより、本学部への入学意欲やアドミッション・ポリシーに叶う者かどうかを確認した。

2. 合否判定の方法と基準

学校長の推薦及び調査書などの状況により、本学部で学ぶに足る基礎学力は充足されているという前提で選考した。

口頭試問での評価の主なポイントは以下のとおりだった。

- ・自分の言葉でしっかり説明できているかどうか。
- ・なぜ本学部を目指そうとしたのか、それが自身の学習とどのように関連するのかどうか。
- ・入学後、何をどのように学びたいのか、学業の目標を示すことができているかどうか。
- ・自身のキャリアプランを明確に持っているかどうか。
- ・自身の強みをしっかりアピールできるかどうか。